

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生協	代表者	西村 哲範	法人・事業所の 特徴	小規模多機能ホームの理念である「一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う」を大切に最期まで住み慣れた地域で、自分らしく過ごせるように訪問 通所 宿泊を柔軟に組み合わせ在宅生活を支援していきます。
事業所名	小規模多機能ホーム ふるさと	管理者	中井 麻美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	1 人	人	人	1 人	2 人	2 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	申し送り事項は忘れる事なく継続して行う。利用者様の事を理解して、どう接するか考え意見を出し合う。	1 日 3 回の申し送りで状況や情報の共有ができた。 利用者様の横に座って話をする時間を作り、昔の事や本人様の思いを傾聴することができた。そこで傾聴したことを部会等で共有しケアに生かすことができた。	評価シートで確認することができた。 今している事を継続して欲しい。	引き続き利用者様と話をする時間を作り、情報や思いを知り共有する。 リーダー業務をする職員の育成をし、統一感のあるケアを実施する。
B. 事業所の しつらえ・環境	居室の環境を整える。	見守りカメラを設置し、居室でも安心して過ごして頂けるようにした。 事業所の整理整頓をして環境整備することができた。	カメラと言ってもシルエットだけで映るので安心した。 安心 安全に居室で過ごせるのでいいですね。	安心して落ち着ける環境 空間作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり		コロナも落ち着いてきたが、地域との関わりを持つ機会が無かった。	コロナも落ち着いてきたので、ふるさどでイベントを開催してほしい。 ボランティアもお願いしたい。 地域の行事にも参加してほしい。	地域との関わりが持てる行事等に積極的に参加 企画する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	送迎時にご近所の方に声掛けやご本人の生活歴で民生委員の方にも協力を求める。	ご近所に積極的に挨拶、コミュニケーションを取ることができた。 挨拶することで事業所を知ってもらう事ができた。	「ふるさと」って言うと近所の方は名前を知っているが、何をするとこかは分かっていない。 知ってもらうために今より関わりやすい事業所にしてほしい。	地域との繋がりが持てるよう引き続き地域の方との関わりを大切にする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方にチラシを配ったりして事業所を再確認してもらう。	運営推進会議を定期的に行い、事業所の事を伝え、再確認してもらう事ができた。	情報を共有し、地域の方が利用できるようにしてほしい。 情報を共有して地域の事を一緒に支えて欲しい。	地域の方 家族様 関わりのある事業所を通じ、サービスの向上 透明性のある運営をしていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	毎年、訓練を継続する。 利用者様によって避難経路、手順 が違うので都度、再確認が必要。	救急救命士、自治会の方、近隣の 事業所、近所の方に参加して頂き A E Dの研修ができた。	本当の災害時は訓練のようにいかない だろう。 時と場合によっては事業所も一時的な 避難場所として利用させてもらえると 助かる。	継続的に地域の方に防災訓練や 防災講習に参加してもらえるよ うに計画する。
--------------------	---	---	---	---

法人名	姫路医療生協
事業所名	小規模多機能ホーム ふるさと

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025年3月22日(17:40～19:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本(計11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	人	11人

前回の改善計画	・利用者、家族のニーズを把握し他の職員と共有する。 ・利用者の情報収集をする。(自ら関わり得た情報を共有する。)
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ間の声の掛け合いが出来てきて統制出来ている。 それぞれの職員が役割を理解し協力し、情報共有も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	2		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		7	4		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8		1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・申し送りや部会で情報共有出来ている。 ・送迎時家族と話しをするようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・環境やスタッフに慣れていただいてからと思う為、本人が必要としているサービスが行えていない。 ・カルテを見る時間がなく見る時間も作れず情報収集できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者のカルテ・ケアプランを休憩室にまとめて設置し、職員がいつでも把握できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025 年 3 月 22 日 (17:40 ~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	8 人	1 人	11 人

前回の改善計画	
・本人の目標や「～したい」を知る。 ・サービス計画書を読み、計画に沿った支援を行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
利用者の短期・長期目標を休憩時間の際に見られるようにまとめて置くなどの工夫をする。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？		2	7	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		4	5	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	4	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		4	5	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者に関わり、その中で気付きは他職員に共有し次に繋げる事が出来ている。 ・当面の目標を意識している。 ・事業所内で決まった事は実践している。 ・ニーズを知る探る努力はしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・業務に追われ、サービス計画書が読めていない為、利用者 1 人 1 人の目標やニーズが把握出来ていない。 ・余裕がなく利用者 1 人 1 人に寄り添い、話をする事が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
時間が空いている時やイベント・行事の時に、利用者の横に座り話をする時間を作る。またそれを継続出来るようにする。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	・声にならない声をチームで言語化する。 ・本人の気持ちに気付き、その都度共有と支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の声のトーンや行動・表情をよく見る事が出来、「いつもと何か違う」を大切に支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	9	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	6		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	1		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の気持ちを考えて行動している。 ・不安に感じている事があれば寄り添い話を聞いている。 ・利用者の細かな変化を見落とさないようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スタッフによるケアが様々で、介護に対する考え方にも差があり、個別に合った入浴は出来ていないと感じる。 ・申し送りに細かい情報交換の時間がなく、知らなかったという事が多々ある。 ・コミュニケーションがあまり取れておらず、以前の暮らしや自宅での生活が把握出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
目指す目標を再度、職員と共有し理解する。 例：入浴時のリフト浴では、リフトの椅子を外し手すりがある場所まで移動し洗身して頂く。浴槽に浸かる際に椅子をくっつける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 3 月 22 日 (17 : 40 ~19 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画

- ・利用者と地域との関わりを知る。
- ・本人の生活スタイル、自宅での過ごし方を知る。

前回の改善計画に対する取組み結果

近隣の住民の方からの声掛け等により、利用者の地域との関わりや本人の自宅での過ごし方・生活スタイルを把握する事が出来る。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	5	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	3	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	5	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5	5	11

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・最低限の人間関係、現在の生活環境の把握は出来ている。
- ・送迎時や家族に会った際は自宅での様子を聞くようにしている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者の周りにどんな資源があり、その中でどのようなものが有用なのか分からない。
- ・関わる機会がなく民生委員や地域資源が把握出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

コロナ等で中断していた外出レクや地域の行事に参加できるところから参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 3 月 22 日 (17 : 40 ~19 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8 人	3 人	人	11 人

前回の改善計画	・利用者の変化に気付き、発言、提案、共有をする。 ・地域の資源について知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の少しの変化に気付き、その都度「申し送りノート」等で職員同士、共有出来ている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	5	4	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	9			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	6	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	8			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・健康状態など状況、ニーズに合わせて必要なサービスを柔軟に提供しよう努めている。 ・入浴での気付きを報告するようにしている。 ・急な日程の変更等が出来ている。 ・変化を感じたら発言し、意見交換し共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・根本的な介護の在り方について解釈の違いがあり、サービスの変更や急な変化に快く受け入れることが出来ない言動が見られる。 ・ふるさと以外で利用者様と関わる機会がなく、地域の資源が把握出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
勉強会などを通して、認知症などのさまざまな病状について知り学びを深め職員全体の知識を向上できるようにする。 他事業所に行き、日々の業務内容について知りそれを自事業所で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 3 月 22 日 (17 : 40 ~19 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1 人	6 人	4 人	11 人

前回の改善計画	・地域の行事に参加する。 ・会議に参加する機会があれば参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	少しずつ会議などに参加する事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		4		7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	8	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	1	8	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			6	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ハロウィンパーティーで地域の方、子供が訪れた。 ・運営促進会議や利用委員会などの決まった会議への参加が出来ている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・以前は近くの園児が来ることもあったが、コロナ禍の影響が続いており施設に立ち寄り辛い印象がある。 ・地域の方と関わる機会がなく、また地域の行事等も知らない。 ・人事の入れ替わりが多く余裕がない為、決まった人の参加にとどまっている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の掲示板を拝見し、どんなことをされているのか知る必要がある。 それを踏まえて、地域の行事に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 3 月 22 日 (17:40 ~19:00)
7. 運営	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・事業所のあり方について考える。 ・本人のこれまでの生活スタイルや、自宅での過ごし方を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	アンケートを取り、その集計の結果から「何を求められているのか」を考え、利用して下さった方に「使って良かった」と思ってもらえるように工夫していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	5	4	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	7	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			7	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・苦情や意見を聞いた時は上司に報告している。 ・意見等を可能な範囲で対応出来るようにしている。 ・支援経過を見て生活スタイル等の把握を出来るようにしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域の方との関わりが取れておらず、協働した取り組みが行えていない。 ・事業理念が浸透しておらず、苦情やクレームの捉え方にスタッフ間で差がある。 ・事業所内の人員や体制が変更されてから間もなく、一職員が意見を言い出しづらい雰囲気がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
理念を再度理解し、苦情やクレームに対して職員 1 人 1 人が真摯に受け止め、良いサービスを提供できる用にする。 コロナ等で中々できずにいた地域との関わりを再開する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2025 年 3 月 22 日 (17 : 40 ~ 19 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	6 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・研修に参加する機会があれば参加する。 ・リスクマネジメントについて理解し取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	声掛けをすることができ、職員全体で注意喚起出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1		5	5	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1		5	5	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	1	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・部会を利用して感染対策、災害対策等の学習には参加出来ている。 ・スキルの底上げになる認知症の理解、実践や接遇強化などの研修は機会がない。 ・利用者の安全を常に意識し未然に事故を防げるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・参加する機会がなく、研修や連絡会等に参加していない。 ・資格取得できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
資格取得できる機会があれば参加する。また、研修なども参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025 年 3 月 22 日 (17:40 ~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 濱谷・辰田・金澤・濱谷・有本・岸・萩原・黒川・幡中・中村・岩本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	人	人	11 人

前回の改善計画	・プライバシー、個人情報の保護に努める。 ・スピーチロックに気を付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	スピーチロックに対して、意識して取り組むも自分にゆとりがなかったりするとしてしまっている時がある。職員同士でも言葉遣いに気を付けて意識し注意し合う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8	3			11
②	虐待は行われていない	9	2			11
③	プライバシーが守られている	4	5	2		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	1	1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	6	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者 1 人 1 人を尊重している。 ・利用者の身体と心のケアを第一に考え、介護や支援が行えている。 ・気づきを伝え、少しずつ改善に向かっている。 ・虐待は行わず、予防も出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・他の利用者対応や兼ね合い、安全を最優先で仕方なくしてしまう時がある。 ・トイレのカーテンが開いたままトイレに入られており、プライバシーが守られていない時がある。 ・ケアの基本が身についておらず、自分の事として捉える事が出来ていないスタッフがいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者に具体的に伝えるようにする。 身体拘束に関して再度考え、すぐ改善できるものはしていく。 利用者のプライバシーについて考え、改善出来る所は工夫し対策する。	